

ProofChecker PRO v4e から v5 へのバージョンアップ詳細について

ProofChecker PRO をご愛顧頂き、ありがとうございます。

2018年2月26日付で、下記の修正を含むバージョンアップを行いました。

新機能については別ファイルにて紹介をしております。バージョン 4e からバグフィックス内容は以下の通りです。

(修正内容は、PRO 版 LE 版とともに共通です。)

● OS 共通

1. 環境設定→表示→行送りのチェックを外し、マークが表示されていない状態でもナビゲートパレットには表示されたままになり、ページも不一致の認識のままになる不具合を修正。
2. 照合時に「uncompress data error」メッセージが表示され、照合結果ですべてのページが表示されない不具合を修正しました。

● OSX 版のみ

1. 環境設定→印刷→自動印刷保存→新旧別紙に設定している場合、新のみしか印字されない不具合を修正しました。
2. 環境設定→印刷→自動印刷保存→新旧別紙に設定している場合、印刷結果の出力順が正しくない不具合を修正しました。
3. 特定のファイルで照合結果に QR コードとバーコードが表示されず不一致判定される不具合を修正しました。

※macOS High Sierra (10.13xx) には未対応です。照合結果で文字化けすることを確認しております。対応まで今しばらくお時間をいただきます。

● Windows 版のみ

1. 縦組み文字のルビ位置が照合結果で正しく表示されない不具合を修正しました。
2. 環境設定→印刷→自動印刷保存に設定している場合、照合結果が表示され保存完了するとウィンドウが閉じる仕様でしたが、表示されたままになる不具合を修正しました。

以上